

## 【調査結果の概要】

### 1 地域特産野菜計

作付面積<sup>\*</sup>は1万800haで、令和4年産に比べ900ha（8%）減少した。

収穫量は20万4,000tで、令和4年産に比べ1万9,700t（9%）減少した。

出荷量は18万8,300tで、令和4年産に比べ1万8,100t（9%）減少した。

※作付面積とは、は種又は植付けをしたもののうち、発芽又は定着した延べ面積をいう。

### 2 葉茎菜類

作付面積は6,730haで、令和4年産に比べ530ha（7%）減少した。

収穫量は11万2,800tで、令和4年産に比べ1万2,600t（10%）減少した。

出荷量は10万1,500tで、令和4年産に比べ1万1,100t（10%）減少した。

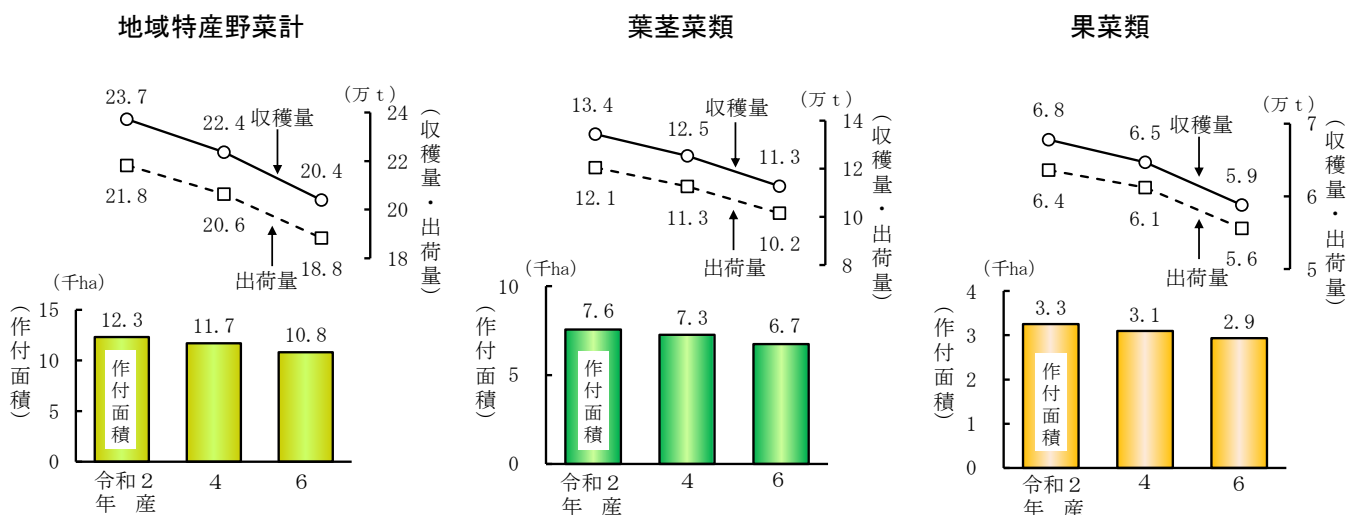
### 3 果菜類

作付面積は2,930haで、令和4年産に比べ170ha（5%）減少した。

収穫量は5万8,800tで、令和4年産に比べ5,900t（9%）減少した。

出荷量は5万5,600tで、令和4年産に比べ5,600t（9%）減少した。

図 地域特産野菜の作付面積、収穫量及び出荷量の推移（全国）



○ 地域特産野菜とは、各都道府県において生産される多様な野菜であり、本調査においては、収穫量がおおむね200t以上の野菜（指定野菜及び指定野菜に準ずる野菜（3ページ参照）を除く）を対象とした。